

# WGR614D ルータセット アップマニュアル

## **NETGEAR**

NETGEAR, Inc.  
4500 Great America Parkway  
Santa Clara, CA 95054 USA

208-10172-01  
2007 年 12 月

## 商標

NETGEAR は NETGEAR 社の商標です。

Microsoft、Windows、WindowsVista、WindowsXP、Windows NT は Microsoft 社の登録商標です。

その他のブランドや商品名は、各所有者に帰属する商標または登録商標です。

## 条件の明示

製品の内部設計、操作機能、安定性などを改善するため、NETGEAR は予告なく本書に記載された製品に変更を加える権利を有するものとします。

NETGEAR は本製品やここに紹介する回路配置などの使用または適用により派生する事柄について、一切の責任を追いかねます。

## 連邦通信委員会 (FCC) 規制：ラジオ周波数に関するお知らせ

この製品は既に FCC 規定第 15 項の Class B デジタル装置としてのテストを受け、その条件を満たしています。これらの条件は、本製品を住宅地域において操作する上で、有害な妨害から保護されるよう定められています。ユーザーは本製品から少なくとも 20 cm の距離を維持してください。

本装置はラジオ周波数を発生、使用、放射しますので、マニュアル通り正しくインストールされていない場合は有害なラジオ妨害を招く恐れがあります。但し、正しくインストールが行われている場合においても、絶対に妨害を招かないという保障はありません。本装置がラジオもしくはテレビ受信に対して妨害を招き、装置の電源を入れたり切ったりすることで、本装置が原因であることが明らかである場合は、以下の要領で妨害の修正を試みて下さい。

- 受信アンテナを再編成するか、位置を移動する。
- 本装置と受信機の間隔を広げる。
- 本装置を、受信機が接続されているものとは別の電源に接続し直す。
- ラジオ/テレビの専門技師に問い合わせる。

メモ： NETGEAR, Inc. により明示的に承認されていない変更や修正は、本装置の操作に関するユーザーの権限を廃棄することになります。

## 情報処理装置等電波障害自主規制協議会 (VCCI) の規制について

この装置は、クラス B 情報技術装置 (住宅地域、またはその隣接地域において使用されるべき情報装置) で、住宅地域での電波障害防止を目的とした情報処理装置等電波障害自主規制協議会 (VCCI) の基準に適合しています。しかし、この装置をラジオやテレビ受信機に近づけて使用すると、受信障害の原因となることがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

## カスタマーサポート

Router Model WGR614D 付属のユーザー登録のお知らせを参照してください。

## WGR614D ルータセットアップマニュアル

### 第 1 章

#### ルータをインターネットに接続する

パッケージ内容 .....	1-1
ルータ底部ラベル .....	1-1
フロントパネル .....	1-2
リアパネル .....	1-3
始める前に .....	1-3
2 つのセットアップ方法 :	
1) Smart Wizard セットアップ 2) 手動セットアップ .....	1-4
Smart Wizard によるセットアップ .....	1-5
手動セットアップ .....	1-5
ルータの接続 .....	1-6
インターネットサービスを使用するためのルータの構成 .....	1-9
製品登録、サポート、ドキュメント .....	1-10
後からルータに再アクセスする方法 .....	1-10
基本的なワイヤレス接続の設定とテスト方法 .....	1-12
適切なワイヤレスセキュリティの実施 .....	1-13

### 第 2 章

#### トラブルシューティング

クイックヒント .....	2-1
ネットワークは常に以下の順序で起動してください .....	2-1
Ethernet ケーブルがしっかりと接続されていることを確認します .....	2-1
コンピュータのネットワーク設定が正しいことを確認してください .....	2-2
ルータのステータスランプをチェックし、 ルータが正しく動作しているかどうか確認します .....	2-2
基本機能の検証 .....	2-2
電源ランプが点灯しない .....	2-3
テストランプが点灯しない、または点灯が持続しない .....	2-3

---

LAN またはインターネットポートのランプが点灯しない .....	2-3
ルータへのログインに関するトラブルシューティング .....	2-4
インターネットサービス接続のトラブルシューティング .....	2-4
インターネット接続 .....	2-5
インターネット IP アドレスの取得 .....	2-5
PPPoE のトラブルシューティング .....	2-6
インターネットブラウザに関するトラブルシューティング .....	2-7
初期設定とパスワードのリセット .....	2-7
Ping ユーティリティを使用した上級トラブルシューティング .....	2-7
PC からルータへのパスをテストする .....	2-8
PC からインターネットへのパスをテストする .....	2-9

**付録 A**  
**技術仕様**

# 第 1 章

## ルータをインターネットに接続する

この章では、ルータの接続とインターネットへのアクセス方法について説明しています。

### パッケージ内容

---

本製品には以下のアイテムが含まれています。

- WGR614D ワイヤレスルータ
- AC 電源アダプタ
- ルータ立て掛け用フット
- Ethernet ケーブル
- セットアップ CD ( 以下を含みます ) 説明書、アプリケーションメモ、その他の役立つ情報
- ユーザー登録のお知らせ ( ハードウェア製品保証規定を含む )

万一、不足品、不当なアイテム、破損品がございます場合は、NETGEAR 取扱店までお問い合わせください。梱包用のダンボールやその他の梱包材料は、製品を修理などに送る際に必要となりますので、大切に保管してください。

### ルータ底部ラベル

ルータ底部のラベルで、シリアルナンバー、ポートコネクタ、ステータスランプ、既定のログオン情報などを確認してください。

## フロントパネル

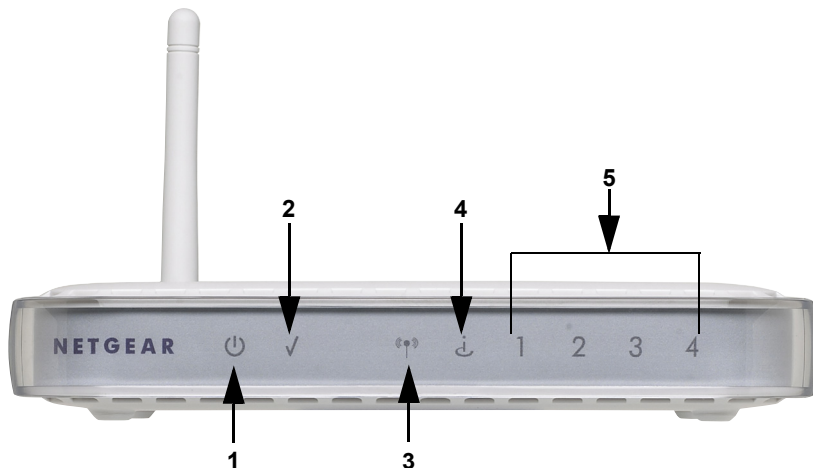


図 1-1

ルータフロントパネルのステータスランプで状態を確認します。

表 1-1.

ステータスランプ	アクティビティ	説明
1. 電源	オン オフ	ルータは給電されています。 ルータは給電されていません。
2. テスト	オン オフ	システム初期化中、またはファームウェア更新中です。 システムの準備が整い、実行中です。
3. ワイヤレス	オン	ワイヤレスポートの初期化を示します。
4. インターネット	点灯 - 橙色 点灯 - 緑 点滅 - 緑	Ethernet ケーブルは接続されていますが、ルータにはインターネットアドレスがありません。 ルータにはインターネットアドレスがあります。 インターネットを通してデータ通信中です。
5. LAN (ローカルエリアネットワークワーク) ランプ 1-4	点灯 (緑) 点滅 (緑) 点灯 (橙色) 点滅 (橙色) オフ	ローカルポートは 100 Mbps デバイスに接続されています。 データを 100 Mbps で転送中。 ローカルポートが 10 Mbps デバイスのリンクを検出しました。 データを 10 Mbps で転送中。 このポートではリンクが検出されませんでした。

## リアパネル

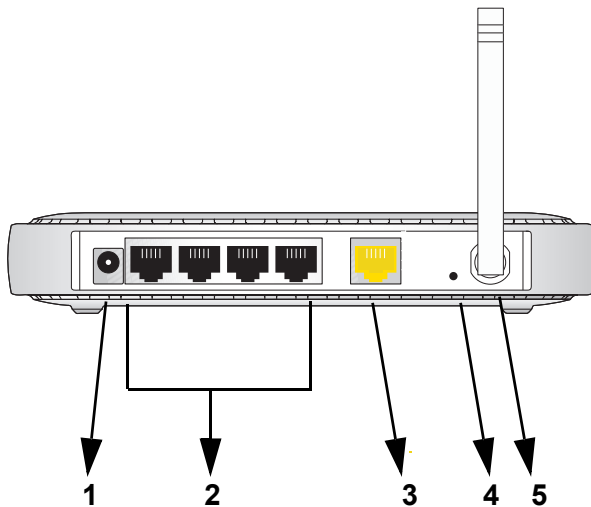


図 1-2

ルータのバックパネルには次の接続ポートが搭載されています。

1. 電源アダプタジャック
2. ローカルコンピュータとの接続用のローカル Ethernet ポート x 4
3. ケーブル/ADSL モデム接続用のインターネットポート
4. 初期設定リセットボタン
5. ワイヤレスアンテナ

## 始める前に

以下の要件を満たしていることを確認してください。

- PC に有線 LAN ポートを有すること。
- プロバイダとの契約・工事が完了していること
- インターネットに接続するための情報が揃っていること。  
[PPPoE 接続の場合 (フレッツ・ADSL, B フレッツ等) ]
- ユーザー名
- パスワード

- DNS サーバーのアドレス（必要な場合のみ）  
[DHCP による接続の場合（YahooBB、CATV 等）]
- コンピュータ名（必要な場合のみ）  
DNS サーバーのアドレス（必要な場合のみ）

[ 固定 IP による接続の場合 ]

WAN 側 IP アドレス

サブネットマスク

ゲートウェイアドレス

DNS サーバーの IP アドレス

## 2 つのセットアップ方法：

### 1) Smart Wizard セットアップ 2) 手動セットアップ

---

ルータを設定するには 2 つの方法があります。

- **Smart Wizard によるセットアップ**: CD の [セットアップ] をクリックし、Smart Wizard を使用します。
  - このオプションが最も簡単です。ウィザードがセットアッププロセスを誘導してくれますので、多くのステップが自動的に行われ、必要条件が存在するかどうかを検証し、設定を完了してくれます。
  - このオプションを実行するには、Microsoft Windows が必要です。
- **手動セットアップ**：このオプションは、CD のウィザードが使用できない場合、既存のルータを置き換える場合、または技術的な知識がある場合に使用してください。ルータの手動セットアップについては、指示に従ってください。

ご利用目的に適したセットアップオプションを使用してください。



## Smart Wizard によるセットアップ

このウィザードセットアッププロセスには約 20 分かかります。

1. NETGEAR CD を Windows PC にセットします。CD は自動的に起動し、PC で使われている言語を検出します。言語オプションを受け入れるか、または別の言語を選択することができます。



メモ：CD が自動的に起動しない場合は、CD を参照し、自動実行ファイルをダブルクリックしてください。

2. [次へ] をクリックすると続行します。
3. [セットアップ] をクリックし、Smart Wizard インストールアシスタントを開始します。ウィザードの指示に従ってください。

## 手動セットアップ

ルータを設定するには以下の 2 つのステップがあります。

1. ルータを ADSL またはケーブルモデムと接続し、コンピュータとルータを接続します。



メモ：ご利用のコンピュータは、DHCP を通してルータから自動的に TCP/IP ネットワーク設定を取得できるよう設定されている必要があります。これが一般的な方法ですが、不明確な場合は、CD のウィザードを使って自動的に設定を行うか、コンピュータの説明書を参照してください。

2. インターネットサービスを使用するため、ルータを設定します。

## ルータの接続

1. ルータ、コンピュータ、モデムを接続します。
  - a. コンピュータの電源を切ります。
  - b. ケーブルモデムまたは ADSL ブロードバンドモデムの電源を切り、取り外します。
  - c. コンピュータとモデムをつないでいる Ethernet ケーブル (1) を確認します。

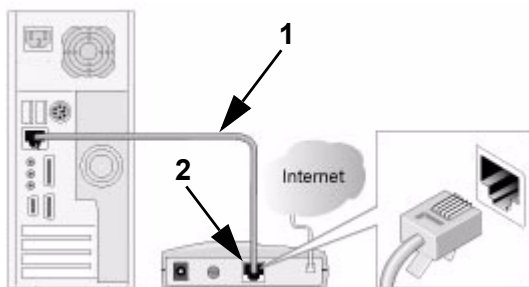


図 1-3

- d. モデム側のケーブルのみ (2) を取り外します。
- e. ルータ底部のラベルで、インターネットポートを確認します。ポートはアンテナの左隣です。
- f. 付属の黄色い Ethernet ケーブルを、モデムとルータ (3) のインターネットポートに接続します。

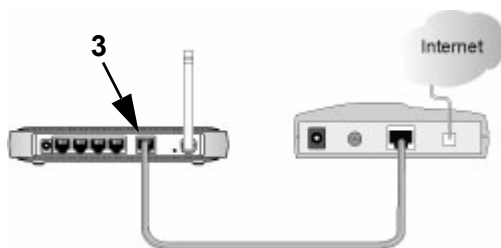


図 1-4

- g. ステップ d でモデム側から取り外した Ethernet ケーブルをルータの LAN ポート (5) にしっかりと接続します。

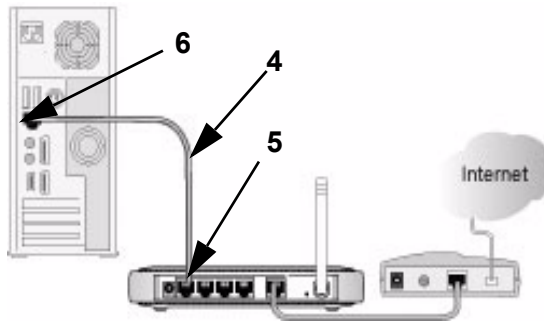


図 1-5

ネットワークケーブルの接続が完了し、ネットワークを起動する準備ができました。

2. 正しい順序でネットワークを起動してください。



**警告：** ネットワークを間違った順序で起動すると、インターネットへアクセスできない場合があります。

- a. まず、モデムの電源を入れてください。2 分間待ちます。
- b. 次に、ルータの電源アダプタをコンセントに差し込みます。1 分間待ちます。
- c. 最後に、コンピュータを起動します。



**メモ：** DSL ユーザの場合、ソフトウェアでインターネットにログインした後は、このソフトウェアを起動しないでください。Internet Explorer の [ツール] メニューから [インターネットオプション] [接続] タブへと進み、ここで [ダイヤルしない] を選択する必要がある場合があります。



図 1-6

- d. ルータのステータスランプをチェックし、以下を確認します。
- **電源**: 電源ランプ (1) は緑色に点灯します。ランプが消えない場合は、[2-1 ページの“クイックヒント”](#)をご覧ください。
  - **テスト**: ルータを初めて起動すると、テストランプ (2) が点滅し、そして消えます。2分経過してもまだ点灯している場合は、[2-1 ページの“クイックヒント”](#)をご覧ください。
  - **ワイヤレス**: ワイヤレスランプ (3) はオフの状態となります。Smart Wizard 構成アシスタントが起動し、ルータのワイヤレス機能を設定します。
  - **インターネット**: インターネットポート (4) は点灯した状態となります。点灯していない場合は、Ethernet ケーブルがしっかりとルータのインターネットポートとモデムに接続されており、且つモデムの電源が入っていることを確認してください。
  - **LAN**: LAN ランプ (5) は点灯している状態となります。緑色は、コンピュータが 100Mbps で通信していることを意味し、黄色はコンピュータが 10 Mbps で通信していることを意味します。LAN ランプが点灯していない場合は、コンピュータからルータへの Ethernet ケーブルがしっかりと接続されており、コンピュータの電源が入っていることを確認してください。

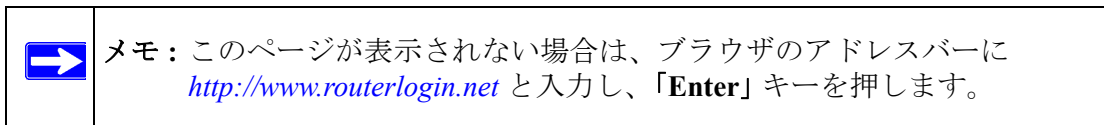
## インターネットサービスを使用するためのルータの構成

1. ルータに接続されたコンピュータで Internet Explorer、Netscape Navigator、Firefox などのブラウザを立ち上げます。

ルータは自動的に NETGEAR Smart Wizard 構成アシスタントページを表示します。



図 1-7



ルータに接続できない場合は、コンピュータのネットワーク設定を確認してください。通常は、IP と DNS サーバアドレスの両方を自動的に取得するよう設定します。これに関する詳細は、コンピュータの説明書を参照してください。

2. [次へ] をクリックしてください。このウィザードは、ルータからインターネットへアクセスするための設定方法をガイドします。

ルータの手動設定を希望する上級ユーザは [いいえ] のラジオボタンを選択し、ユーザ名とパスワードの欄に **admin** と **password** を入力し、[基本設定] ページで必要情報を入力してください。

3. [完了] をクリックして終了します。

インターネットに接続できました。

## 製品登録、サポート、ドキュメント

お買い上げの製品を、<https://www.netgear.jp/supportInfo/RegisterUser/> から登録してください。電話によるサポートサービスをご利用になる前に、製品登録を行う必要があります。製品アップデートや Web サポートは、<http://www.netgear.jp/products/details/WGR614D.html> から常にご利用いただけます。

説明書は CD、サポート Web サイト、ドキュメントのウェブサイトから取得できます。ルータがインターネットに接続されている場合は、Web サポートメニューのナレッジベースまたはドキュメントリンクをクリックし、ルータに関する情報やドキュメントを取得することができます。

## 後からルータに再アクセスする方法

構成アシスタントウィザードは、ルータが工場出荷時の初期設定状態にあるときにのみ表示され、ルータにアクセスする際にログイン名やパスワードが必要ありません。ルータを構成した後（または構成アシスタントウィザードをスキップした後）、再度表示されることはありません。このため、変更するにはルータにログインする必要があります。




**メモ：**リセットボタンを押すと、出荷時の既定値に戻すことができます。この機能については、[2-7 ページの“初期設定とパスワードのリセット”](#)をご覧ください。

ログイン名とパスワードを使ってルータにアクセスするには、次の指示に従ってください。


1. ブラウザのアドレス欄に <http://www.routerlogin.net> と入力し、「Enter」をクリックしてルータに接続します。



図 1-8

	<p><b>ヒント:</b> 次の3つのうち、いずれかのアドレスをブラウザのアドレス欄に入力し、「Enter」をクリックしてルータに接続します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <a href="http://www.routerlogin.net">http://www.routerlogin.net</a></li> <li>• <a href="http://www.routerlogin.com">http://www.routerlogin.com</a></li> <li>• <a href="http://192.168.1.1">http://192.168.1.1</a></li> </ul> <p>ルータがユーザ名とパスワードを入力するよう要請します。</p>
---	---

2. セキュリティを考慮し、ルータには独自のユーザ名とパスワードがあります。画面で指示されたら、ユーザ名に **admin**、パスワード欄に **password** と入力します。いずれも小文字で入力してください。

	<p><b>メモ:</b> ルータのユーザ名とパスワードはインターネット接続にログインする際に使用するユーザ名やパスワードとは異なります。</p>
---	---

以下のようなログイン画面が開きます：



図 1-9

ユーザ名とパスワードを入力します。ルータはホームページを表示します。

ルータがインターネットに接続されている場合は、Web サポートメニューのナレッジベースまたはドキュメントリンクをクリックし、ルータに関する情報やドキュメントを取得することができます。

[ ログアウト ] をクリックしないまま、何も操作せずに 5 分間が経過すると、ルータは自動的にユーザをログアウトします。

## 基本的なワイヤレス接続の設定とテスト方法

以下の手順で基本的なワイヤレス接続を設定し、テストしてください。基本的なワイヤレス接続が確立できたら、セキュリティ設定をニーズに合わせて設定しましょう。

1. 既定の LAN アドレス `http://192.168.1.1` と既定のユーザ名 **admin** とパスワード **password** でルータにログインしてください。または、任意の LAN アドレスと自分で設定したパスワードをご利用になることもできます。
2. ルータのメインメニューで [ ワイヤレス設定 ] リンクをクリックしてください。
3. 既定の SSID は **NETGEAR** です。



**メモ:** ワイヤレスアダプタの SSID は、ルータで構成する SSID と一致しなければなりません。SSID が一致しない場合、ワイヤレス接続は確立されません。

4. 地域を設定します。ワイヤレスインターフェースからご使用の地域を選択してください。
5. [ 適用 ] をクリックして変更を保存します。



**メモ:** ワイヤレスコンピュータからルータを構成しており、ルータの SSID、チャンネル、またはセキュリティ設定を変更する場合、[ 適用 ] をクリックすると同時にデバイスの接続が中断されます。お使いのコンピュータのワイヤレス設定を新しいルータの設定に合わせてから再接続してください。

6. コンピュータのワイヤレス接続を設定し、テストしてください。

コンピュータのワイヤレスアダプタをプログラムし、ルータと同じワイヤレスネットワーク名 (SSID) を持つよう設定してください。これらにワイヤレスリンクが確立され、ルータから DHCP を通して IP を取得できることを確認します。



## 適切なワイヤレスセキュリティの実施



**警告：**室内では、コンピュータは最大 300 フィート (約 900 m) の範囲内で 802.11g ワイヤレスネットワークを確立することができます。この許容距離は、自分たちのネットワーク外の部外者が簡単にネットワークにアクセスできる範囲でもあります。

有線ネットワークと異なり、ワイヤレスなデータ通信は壁を越えて互換性のあるアダプタを持つ全ての人に受信されることとなります。このため、ワイヤレス装置にはセキュリティ機能が必須アイテムとなっています。ルータは非常に効果的なセキュリティ機能を搭載しています。これについては、CD のリンク、またはルータのメインメニューのリンクからリファレンスマニュアルをご覧ください。マニュアルまたはルータのヘルプ画面の指示に従い、必要に応じたセキュリティ機能を導入してください。



## 第 2 章 トラブルシューティング

この章では、お使いのルータに関するトラブル解決の方法をご紹介します。

### クイックヒント

---

以下は、単純でよくあるミスを修正するためのヒントです。

#### ネットワークは常に以下の順序で起動してください

1. モデムの電源を切り、コンセントから外して、ルータとコンピュータの電源を切ります。
2. モデムの電源を入れ、2 分間待ちます。
3. ルータの電源を入れ、1 分間待ちます。
4. コンピュータの電源を入れます。

#### Ethernet ケーブルがしっかりと接続されていることを確認します

- モデムからのルータへの Ethernet ケーブルがしっかりと接続され、モデムとルータの電源が入っていると、ルータのインターネットステータスランプが点灯します。
- コンピュータが Ethernet ケーブルでルータにしっかりと接続され、電源が入っていると、ルータ LAN ポートのステータスランプが点灯します。ルータ底部のラベルは各 LAN ポートの番号を示しています。

## コンピュータのネットワーク設定が正しいことを確認してください

- コンピュータと接続された LAN は、DHCP を通して同じ IP アドレスを自動的に取得するよう設定されている必要があります。
- 一部のケーブルモデムサービスは、アカウントに登録されたコンピュータの MAC アドレスを使用するよう要請することがあります。この場合、基本設定メニューのルータ MAC アドレス部分で [ コンピュータの MAC アドレスを使用する ] を選択し、[ 適用 ] をクリックして設定を保存してください。正しい順序でネットワークを再起動してください。

## ルータのステータスランプをチェックし、ルータが正しく動作しているかどうか確認します

ルータの電源を入れた後、2 分以内に電源ランプが緑色に点灯しない場合、[2-7 ページの“初期設定とパスワードのリセット”](#)の指示に基づき、ルータを再起動してください。

## 基本機能の検証

---

ルータの電源を入れた後、以下のことが確認できます。

1. 初めて電源を入れたときに、電源ランプが点灯しているかどうかを確認します ([1-2 ページの“フロントパネル”](#)の図を参照)。
2. テストランプが数秒点灯し、セルフテストが実行されていることを確認します。
3. 約 20 秒間の間に：
  - a. テストランプが消えます。
  - b. 接続されているローカルポートの LAN ポートランプが点灯します。
  - c. インターネットポートが接続され、ランプが点灯します。

ポートのランプが点灯したら、接続デバイスへのリンクが確立されたことを意味します。LAN ポートが 100 Mbps デバイスに接続されている場合、ポートのランプが緑色に点灯しているかどうかを確認してください。ポートが 10 Mbps の場合、ランプは黄色に点灯します。

## 電源ランプが点灯しない

電源やその他のランプが点灯しない場合、以下を点検してください。

- ルータへの電源コードが正しく接続されており、電源アダプタが有効なコンセントに接続されているかどうかを確認してください。
- このルータ付属の NETGEAR により供給された電源アダプタをご使用かどうか確認してください。

エラーが持続する場合は、ハードウェアに問題がある可能性があります。テクニカルサポートへご連絡ください。

## テストランプが点灯しない、または点灯が持続しない

ルータの電源を入れると、テストランプが 20 秒間ほど点灯し、そして消えます。テストランプが点灯しない、または点灯が持続しない場合、ルータに問題があると考えられます。

テストランプに関する問題が生じている場合は、電源を切ってから再度入れてみて、ルータが正常に戻るかどうか確認してください。

テストランプを含めたすべてのランプが 1 分以上経過しても消えない場合：

- 電源を切ってから再度入れてみて、ルータが正常に戻るかどうか確認してください。
- ルータの設定を工場出荷時の状態にリセットしてください。リセットすると、ルータの IP アドレスは 192.168.1.1 となります。方法については、[2-7 ページの“初期設定とパスワードのリセット”](#)をご覧ください。

エラーが持続する場合は、ハードウェアに問題がある可能性があります。テクニカルサポートへご連絡ください。

## LAN またはインターネットポートのランプが点灯しない

Ethernet 接続が確立しても LAN ランプまたはインターネットランプが点灯しない場合は、以下を点検してください。

- Ethernet ケーブル接続がルータ側とコンピュータ側でしっかりと確立されているかどうかを確認してください。
- 接続されたコンピュータの電源が入っているかどうかを確認してください。

- ルータ付属のケーブルに類似した Ethernet ケーブルを使用していることを確認してください。

## ルータへのログインに関するトラブルシューティング

---

ルータにログインできない場合は、以下を点検してください。

- Ethernet に接続されたコンピュータを使用している場合は、コンピュータとルータ間の接続が前のセクションで説明された通りに確立されているかどうかを確認してください。
- 正しいログイン情報を使用していることを確認してください。工場出荷時の既定ログイン名は **admin**、パスワードは **password** です。キーボード入力の際は CAPS LOCK がオフになっていることも確認してください。
- お使いのコンピュータのアドレスは、192.168.1.2 ~ 192.168.1.51 の間である必要があります。コンピュータの IP アドレスを判断するには、コンピュータの説明書を参照してください。



**メモ:** お使いのコンピュータの IP アドレスが 169.254.x.x となっている場合、コンピュータとルータの間に良好な接続が確立されていることを確認し、コンピュータを再起動してください。

- ブラウザが Java、JavaScript、ActiveX に対応していることを確認してください。Internet Explorer をお使いの場合は、[更新] をクリックして Java アプレットを読み込んでください。ブラウザを終了してから再度立ち上げてください。

## インターネットサービス接続のトラブルシューティング

---

ルータがインターネットにアクセスできない場合、インターネット接続が作動しているかどうかを確認し、ルータがインターネットアドレスを取得できているかどうかを確認します。

## インターネット接続

まず、ケーブルまたは ADSL モデムが正常に接続されているかどうかを確認します。ケーブルまたは ADSL モデムのステータスランプが、接続が確立されているかどうかを示します。モデム接続の確認方法については、モデムの説明書を参照するか、またはプロバイダにお問い合わせください。

### ルータインターネットランプが緑に点灯、または点滅している

インターネットランプが緑に点灯または点滅している場合、インターネット接続が良好であり、配線が正しいことを意味します。

### ルータインターネットランプが黄色に点滅している

インターネットランプが黄色に点滅している場合、ルータはサービスプロバイダとの間でインターネット接続を確立しようとしていることを意味します。LED は数分で緑色に変わるはずですが、緑色に変わらない場合は、下記の方法でモデムのインターネット接続を点検してください。

### ルータインターネットランプがつかない

インターネットランプが消えている場合、ケーブルと ADSL モデムの間で Ethernet ケーブルがしっかりと接続され、モデムとルータの電源が入っていることを確認してください。

## インターネット IP アドレスの取得

お使いのルータがインターネットにアクセスできず、インターネットランプが黄色く点灯または点滅する場合、ルータがサービスプロバイダからインターネット IP アドレスを取得できているかどうかを検証する必要があります。静的 IP アドレスがある場合を除き、ルータはサービスプロバイダから自動的に IP アドレスを要求します。

ブラウザインターフェースからインターネット IP アドレスを確認するには：

1. ルータにログインします。
2. [ メンテナンス ] 見出しの下の [ ルータステータス ] リンクを使い、インターネットポートに対する IP アドレスが表示されているかどうかを確認します。

ルータがプロバイダから IP を取得できない場合、以下のいずれかの問題が考えられます。

- プロバイダがログインを必要としている可能性があります。プロバイダに、PPP over Ethernet (PPPoE) ログインが必要かどうか、問い合わせてください。
- サービス名、ユーザ名、パスワードが間違っている可能性があります。下記の“[PPPoE のトラブルシューティング](#)”を参照してください。
- サービスプロバイダがコンピュータのホスト名をチェックしている可能性があります。ブラウザベースの [ 基本設定 ] メニューで、ルータにプロバイダアカウントのコンピュータホスト名を割り当ててください。
- ご利用のサービスプロバイダが Ethernet MAC アドレスのみの接続を許可しており、PC の MAC アドレスについてチェックする場合があります。

その場合、プロバイダに対し、あなたが新しいネットワークデバイスを購入し、ルータの MAC アドレスを使用したいことを伝えてください。

または

ルータが PC の MAC アドレスを真似るよう構成してください。この設定は [ 基本設定 ] メニューで行うことができます。ルータメインメニューのオンラインヘルプを参照してください。

## PPPoE のトラブルシューティング

次の方法で、PPPoE 接続に関する問題を解決します。

1. ルータにログインします。
2. [ メンテナンス ] の見出しで [ ルータステータス ] のリンクを選択してください。
3. [ 接続状態 ] ボタンをクリックしてください。
4. すべてのステップで [ OK ] が確認された場合、PPPoE 接続は有効であることを意味します。
5. サーバに接続が [ オフ ] と表示された場合、[ 接続 ] をクリックし、再接続を試みてください。

数分経過しても接続できない場合、間違ったサービス名、ユーザ名、パスワードを使用している可能性があります。または、プロバイダによる問題の可能性も考えられます。



**メモ：**手動で接続した場合を除き、ルータはデータがネットワークに転送されるまで PPPoE を使用して認証を行いません。



## インターネットブラウザに関するトラブルシューティング

ルータが IP アドレスを取得しても、コンピュータがインターネットのウェブページを読み込むことができない場合、下記を点検してください。

- お使いの PC は DNS サーバーアドレスを認識できない可能性があります。  
DNS サーバーは、インターネット名 (www アドレスなど) を数字の IP アドレスに変換するためのインターネット上のホストです。通常、ご利用のプロバイダが DNS サーバーのアドレスを 1 つか 2 つ提供しています。ルータ構成中に DNS アドレスを入力した場合は、コンピュータを再起動してください。また、コンピュータの説明書などの説明に従い、PC の DNS アドレスを手動で設定することもできます。
- お使いの PC では、デフォルトゲートウェイとしてルータが設定されていない可能性があります。  
コンピュータを再起動し、ルータアドレス (192.168.1.1) がデフォルトゲートウェイアドレスとしてコンピュータに表示されているかどうかを確認します。

## 初期設定とパスワードのリセット

ここでは工場出荷時の初期設定にリセットし、ルータの管理者パスワードを **password** に変更し、IP アドレスを 192.168.1.1 に変更する方法をご紹介します。現在の設定を消去し、工場出荷時の初期設定にリストアすることができます。

工場出荷時の初期設定に戻そうには、ルータ背面のリセットボタンを使います。

1. ペンやペーパークリップなどの鋭利なものを使ってリセットボタンを約 20 秒間押し続け ([ページ 1-3](#) 参照)、フロントのテストランプが点灯したら放します。
2. リセットボタンを放し、ルータが再起動するのを待ちます。

## Ping ユーティリティを使用した上級トラブルシューティング

ほとんどのコンピュータとルータには、*ping* と呼ばれる診断ユーティリティがあり、目的のデバイスに要求を送信することができます。これを受け、相手のデバイスが回答します。Ping ユーティリティは、ネットワークの問題解決を促します。

## PC からルータへのパスをテストする

ルータを Ping することで、コンピュータからルータへの LAN パスが正しく設定されているかを点検することができます。

1. Windows のツールバーで、[スタート] をクリックし、[ファイル名を指定して実行] をクリックします。

2. この欄で Ping と入力した後、ルータのアドレスを入力します。以下の例の通りです：

```
ping www.routerlogin.net
```

または

```
ping 192.168.1.1
```

3. [OK] をクリックしてください。

以下のいずれかのメッセージが表示されます：

```
Pinging 192.168.1.1 with 32 bytes of data
```

このパスが有効な場合は、以下のようなメッセージが表示されます：

```
Reply from 192.168.1.1: bytes=32 time=NN ms TTL=xxx
```

このパスが無効な場合は、以下のようなメッセージが表示されます：

```
Request timed out
```

パスが正しく機能していない場合は、以下のいずれかの問題が考えられます。

- 物理接続に問題があります。
  - LAN ポートランプが点灯していることを確認してください。ランプが消えている場合、[ページ 2-3](#) の“LAN またはインターネットポートのランプが点灯しない”の指示に従ってください。
  - 対応するランプがコンピュータのネットワークインターフェースカード上にあることを確認します。
- ネットワーク設定が間違っています。
  - Ethernet カードのドライバソフトウェアと TCP/IP ソフトウェアがいずれもインストールされ、PC が設定されているかどうかを確認してください。
  - お使いのルータとコンピュータの IP アドレスは正しく、両方のアドレスは 192.168.1 で始まります。

## PC からインターネットへのパスをテストする

コンピュータとルータ間のパスが正しく作動していることが確認されたら、PC からインターネットへのパスをテストしましょう。Windows の [ ファイル名を指定して実行 ] メニューで、以下のように入力してください：

```
PING -n 10 <IP address>
```

<IP address> はプロバイダの DNS サーバなどのリモートデバイス IP アドレスです。

パスが正しく機能していれば、前セクションのような返答が表示されます。返答を受信できない場合：

- お使いの PC が既定ゲートウェイとしてリストされているルータの IP アドレスを設定しているかどうかチェックしてください。PC の IP 設定が DHCP により割り当てられている場合、この情報は PC のネットワーク・コントロールパネルでは見ることができません。ルータの IP アドレスが TCP/IP のデフォルトゲートウェイとして表示されているかどうか確認してください。
- PC のネットワークアドレス ( ネットマスクにより指定された IP アドレス部分 ) がリモートデバイスのネットワーク・アドレスと異なるかどうかを確認してください。
- ご利用のプロバイダが PC にホスト名を割り当てている場合、基本設定メニューのアカウント名部分にホスト名を入力してください。



# 付録 A

## 技術仕様

この付録では、ルータの技術仕様を提供しています。

### ネットワークプロトコルと互換性

データとルーティングプロトコル TCP/IP、DHCP、PPPoE、Dynamic DNS、UPnP

### 電源アダプタ

北アメリカ:	入力: 120V、60 Hz
イギリス、オーストラリア:	入力: 240V、50 Hz
ヨーロッパ:	入力: 230V、50 Hz
日本:	入力: 100V、60/60 Hz
すべての地域 (出力):	12 V DC @ 1.0A 出力

### サイズ

寸法:	1.1" x 5.8" x 3.8" 286 x 147 x 957 mm
-----	--

重量:	0.45 lbs. 0.20 kg
-----	----------------------

### 環境

動作温度:	0° ~ 40° C (32° ~ 104° F)
動作湿度:	最大 90% 相対湿度、結露しないこと

### 電磁放射

以下の規定に対応:	FCC Part 15 Class B、VCCI Class B、EN 55022/24 (CISPR 22/24) Class B、EN 60950 (CE LVD) Class B、MIC
-----------	--

### インターフェース仕様

LAN:	10BASE-T または 100BASE-Tx、RJ-45
WAN:	10BASE-T または 100BASE-Tx、RJ-45

---

